

闘わないがん治療－先進医療セミナー

[切らずに、仕事をしながらできる治療方法]

がん

患者の方の多くは、精神的にも身体的にも苦痛を抱えています

第一部

精神的、身体的負担を緩和してくれる治療法。

“先進医療”

— 例えば、旅行などを楽しみながらでも可能な治療です。
しかし、その治療は特定の医療機関でしか受けることができません。
では、そもそも先進医療とは何なのか？

「私たちがその治療を受けるには？」

第二部

もし万が一愛する家族が罹患してしまったら？

実際の生活にどう影響するのか？仕事は続けられるのか？家計はどうなる？

自らも、甲状腺がんと闘い、その傍ら多くの書籍を出版されている波多江伸子さん。
患者としての目線での実体験を交えたお話です。

「家族の為に知っておくべきこと」

4月18日(月)



● 乳がん触診・がんパネルの展示も行います

参加費無料
募集定員 100名

※先着順に締め切らせていただきます。

時間 ▶ 14:00～16:00 (13:30 受付開始)

会場 ▶ エルガーラホール (中ホール)
(福岡市中央区天神1-4-2)

申込 ▶  0120-110-299

上記電話、またはQRコードにてお申し込みください。
(電話受付時間 10:00～18:00 まで)



主催 株式会社ほけんの110番
(ホームページ <http://www.e-hoken110.com/>)
協賛 アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)
協力 財団法人メディポリス医学研究財団
福岡がん患者団体ネットワーク がん・バツテン・元気隊
NPO 法人福岡がんサポートセンター



第一部

菱川 良夫

財団法人メディポリス医学研究財団がん粒子線治療研究センター長
兵庫県立粒子線医療センター名誉院長

『さようならを言うための時間』
— みんなで支えた彼の「選択」

波多江伸子著
木星舎



第二部

波多江 伸子

倫理学研究者、および作家として、医療倫理や終末期の諸問題をテーマに、講演や執筆、ボランティア活動を行う。自らも甲状腺がんの手術を受けた経験があり、患者としての視点も活動に生かしている。

